

## 人 ピアノの歴史通覧も最終回

バロックから現代までのピアノ曲を6回シリーズで取り上げているピアニスト田崎悦子さん＝写真＝が22日、上野の東京文化会館小ホールで最終回となるリサイタルを開く。

2年半に及ぶシリーズでは、バッハ、シューベルト、バルトークなどを弾いてきた。今



「私が委嘱し、1976年にワシントンで初演した思い出の曲。プレリュードで始まりフーガで終わる壮大な構成はバッハへのオマージュ

回は20世紀作品の特集で、注目はアメリカの現代作曲家ジョージ・ロックバークの大曲「パルティータ ヴァリエーションズ」。

で、深いロマンチズムに満ちている」。親交のあった作曲家は4年前に世を去ったが、「今でも彼の繊細な感性や愛情を身近に感じる」。300年にわたるピアノの歴史を通覧したシリーズを最後に締めくくるのは、バッハのパルティータ第4番。「過去から未来まですべてを包含した宇宙的な曲で、長い旅を締めくくりたい」。問い合わせは☎03・3235・3777。